



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月14日

上場会社名 株式会社大庄 上場取引所 東
コード番号 9979 URL <https://www.daisy.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了壽
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 野間 信護 (TEL) 03-5764-2229
定時株主総会開催予定日 2025年11月27日 配当支払開始予定日 2025年11月28日
有価証券報告書提出予定日 2025年11月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関、機関投資家、アナリスト、マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績(2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	52,556	3.9	1,196	19.6	1,196	3.3	1,172	△12.1
2024年8月期	50,586	11.2	1,000	—	1,157	—	1,333	—

(注) 包括利益 2025年8月期 1,178百万円(0.8%) 2024年8月期 1,168百万円(— %)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	55.88	—	10.8	3.8	2.3
2024年8月期	63.55	—	13.4	3.5	2.0

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 — 百万円 2024年8月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	29,523	11,286	38.2	537.83
2024年8月期	33,524	10,402	31.0	495.70

(参考) 自己資本 2025年8月期 11,286百万円 2024年8月期 10,402百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	2,148	295	△5,468	5,974
2024年8月期	1,536	370	△1,041	9,001

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00	293	22.0	3.0
2025年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00	293	25.1	2.7
2026年8月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00		31.9	

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,860	2.5	605	0.8	575	△3.2	480	△32.3	22.87
通 期	53,700	2.2	1,270	6.2	1,220	2.0	920	△21.6	43.84

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年8月期	21,198,962株	2024年8月期	21,198,962株
2025年8月期	213,888株	2024年8月期	213,868株
2025年8月期	20,985,081株	2024年8月期	20,985,111株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年8月期の個別業績(2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	42,110	3.3	622	△10.7	620	△73.6	803	△69.7
2024年8月期	40,755	14.3	696	—	2,352	—	2,649	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期	38.31	—
2024年8月期	126.27	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年8月期	26,328		10,511		39.9	500.90
2024年8月期	30,745		9,996		32.5	476.36

(参考) 自己資本 2025年8月期 10,511百万円 2024年8月期 9,996百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかに回復しつつあります。一方で、地政学リスクの顕在化や、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクなどにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、人流の改善やインバウンド消費の拡大等により需要は回復基調にあるものの、物価上昇の継続と実質賃金の伸び悩みによる節約志向の高まりや、原材料価格・光熱費、人手不足による人件費などコストの上昇が続いており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献する」という基本方針にこだわり事業運営を行ってまいりました。また、着実な事業発展と収益力強化を図るため、強化業態への業態変更や既存店舗のリニューアル、旬の食材や鮮魚を使ったメニューの提供、SNSを活用したデジタルマーケティング、卸売・ロジスティクス事業の強化、不動産事業及びFC・VC事業等の拡充、モチベーション向上取組みや健康経営の推進、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による生産性向上等の施策に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、新規出店を3店舗、店舗改装を20店舗、店舗閉鎖を14店舗(うちVC(ボランティアチェーン)への移行を5店舗)行った結果、当連結会計年度末における当社グループ店舗数は311店舗(直営232店舗、FC28店舗、VC51店舗)となりました。

この結果、当期の連結売上高は、前年同期に比べ3.9%増加の52,556百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、事業内容をより適正に表示するため、従来「フランチャイズ事業」としていたセグメント名称を「FC・VC事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

飲食事業につきましては、店舗改装や各種営業施策への取組みにより、既存店売上高が前年を上回って推移したこと等により、売上高は前年同期に比べ1.2%増加の23,785百万円となりました。

卸売・ロジスティクス事業につきましては、卸売含む総合物流サービスによる外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ7.0%増加の25,902百万円となりました。

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ横ばいの1,625百万円となりました。

FC・VC事業につきましては、VC店舗の増加に伴い営業権利用料収入が増加したものの、FC店舗の減少等により、売上高は前年同期に比べ微減の910百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ1.5%増加の332百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は1,196百万円(前年同期比19.6%増加)、経常利益は1,196百万円(前年同期比3.3%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,172百万円(前年同期比12.1%減少)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は11,486百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,129百万円減少となりました。これは、現金及び預金が3,611百万円減少したこと等によるものであります。

また、当連結会計年度末における固定資産は18,033百万円となり、前連結会計年度末に比べ869百万円減少となりました。これは、投資有価証券が705百万円増加したことに対し、建物及び構築物(純額)が1,133百万円、建設仮勘定が151百万円、土地が123百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は10,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,337百万円減少となりました。これは、短期借入金が2,070百万円増加したことに対し、1年内返済予定の長期借入金が4,752百万円減少したこと等によるものであります。

また、当連結会計年度末における固定負債は7,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,547百万円減少となりました。これは、長期借入金が2,283百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は11,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ884百万円増加となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益1,172百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ3,026百万円減少の5,974百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,148百万円の資金収入(前年同期は1,536百万円の資金収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,335百万円、減価償却費1,051百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、295百万円の資金収入(前年同期は370百万円の資金収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出849百万円、投資有価証券の取得による支出159百万円に対し、有形固定資産の売却による収入1,302百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,468百万円の資金支出(前年同期は1,041百万円の資金支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増額2,070百万円に対し、長期借入金の返済による支出7,036百万円等によるものであります。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期
自己資本比率	31.7%	29.8%	28.6%	31.0%	38.2%
時価ベースの自己資本比率	58.8%	71.0%	71.8%	68.9%	84.7%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	450.5%	1,881.5%	910.2%	410.1%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	42.7倍	9.4倍	15.9倍	18.4倍

- (注) 自己資本比率 : 自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
 2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
 3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
 4. 2021年8月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善などを背景に国内の消費活動は堅調に推移しているものの、国際情勢の悪化や不安定な為替変動、米国の通商政策の影響に加え、原材料価格の高騰や人手不足による人件費など各種コスト増加の懸念は継続しており、引き続き厳しい経営環境は続くことが予想されます。

このような環境下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の台所」の役割を果たしていくとともに企業価値の向上を目指し、各種施策に取り組んでいきたいと考えております。

具体的に対処すべき課題として、飲食事業においては引き続き主要業態「庄や」のリニューアルや強化業態への業態変更を含む店舗改装を推進すると共に、食材や調理法を工夫した魅力あるメニューの提供、デジタルマーケティングやウェブ予約獲得の拡充等による集客力強化を図ってまいります。また、卸売・ロジスティクス事業における地方を含めた外部販売先の拡大と配送機能の強化、その他各セグメント(不動産事業、F C・V C事業等)の収益確保、D Xの推進等による業務効率化、労働環境の改善や研修の充実等による人材確保・育成などに取り組むことにより、会社全体での売上高と利益率の向上を目指し、企業価値向上を図りたいと考えております。

以上の結果、2026年8月期の通期連結業績予想につきましては、売上高53,700百万円、営業利益1,270百万円、経常利益1,220百万円、親会社株主に帰属する当期純利益920百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の向上並びに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けております。また、利益配分につきましては、事業拡大に向けて内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対しては、安定した配当を継続的にを行うことを基本方針としつつ、業績動向や財務健全性の状況も十分に考慮した上での適正な利益還元を行っていききたいと考えております。

当期末の配当金につきましては、足許の当社を取り巻く経営環境と当期業績を総合的に勘案した結果、前期末と同額の1株当たり8円とさせていただき、通期では前期と同額の年間14円となります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,007	5,395
売掛金及び契約資産	3,889	4,132
商品及び製品	991	1,026
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	106	99
未収入金	15	186
その他	638	660
貸倒引当金	△34	△14
流動資産合計	14,615	11,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,801	14,412
減価償却累計額	△9,886	△9,630
建物及び構築物（純額）	5,915	4,782
機械装置及び運搬具	1,692	1,694
減価償却累計額	△1,177	△1,181
機械装置及び運搬具（純額）	514	512
工具、器具及び備品	1,716	1,613
減価償却累計額	△1,437	△1,326
工具、器具及び備品（純額）	279	287
土地	3,862	3,738
リース資産	1,144	1,048
減価償却累計額	△936	△914
リース資産（純額）	208	134
建設仮勘定	161	9
有形固定資産合計	10,941	9,465
無形固定資産		
借地権	1,763	1,763
ソフトウェア	94	140
その他	126	119
無形固定資産合計	1,983	2,023
投資その他の資産		
投資有価証券	381	1,087
出資金	1	1
長期貸付金	5	324
差入保証金	3,417	2,974
敷金	1,533	1,511
繰延税金資産	542	530
その他	108	122
貸倒引当金	△12	△8
投資その他の資産合計	5,977	6,543
固定資産合計	18,903	18,033
繰延資産		
社債発行費	5	4
繰延資産合計	5	4
資産合計	33,524	29,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,542	2,506
短期借入金	130	2,200
1年内返済予定の長期借入金	7,036	2,283
1年内償還予定の社債	90	90
リース債務	101	115
未払金	1,608	1,823
未払法人税等	120	145
未払消費税等	443	386
賞与引当金	234	366
株主優待引当金	256	291
店舗閉鎖損失引当金	0	3
資産除去債務	12	28
その他	344	345
流動負債合計	12,922	10,584
固定負債		
社債	225	135
長期借入金	6,185	3,902
リース債務	216	87
退職給付に係る負債	1,638	1,550
役員退職慰労引当金	213	238
受入保証金	846	869
資産除去債務	786	775
繰延税金負債	82	91
その他	5	1
固定負債合計	10,199	7,651
負債合計	23,121	18,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	7,657	7,657
利益剰余金	2,870	3,749
自己株式	△250	△250
株主資本合計	10,377	11,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	29
その他の包括利益累計額合計	24	29
非支配株主持分	—	0
純資産合計	10,402	11,286
負債純資産合計	33,524	29,523

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	50,586	52,556
売上原価	30,935	32,216
売上総利益	19,651	20,340
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	54	59
運搬費	200	300
貸倒引当金繰入額	11	△19
役員報酬	227	231
給料及び手当	7,906	7,988
賞与	144	135
賞与引当金繰入額	136	246
退職給付費用	140	69
役員退職慰労引当金繰入額	22	24
法定福利費	1,084	1,112
福利厚生費	74	71
減価償却費	835	858
水道光熱費	1,178	1,193
租税公課	100	97
地代家賃	2,871	2,850
株主優待引当金繰入額	249	275
その他	3,410	3,647
販売費及び一般管理費合計	18,650	19,143
営業利益	1,000	1,196
営業外収益		
受取利息	21	9
受取配当金	2	3
貸倒引当金戻入額	4	4
受取損害賠償金	13	44
受取保険金	50	50
投資有価証券売却益	235	23
為替差益	6	3
その他	71	45
営業外収益合計	406	185
営業外費用		
支払利息	98	114
貸倒引当金繰入額	9	0
減価償却費	2	2
支払手数料	41	26
その他	97	41
営業外費用合計	249	185
経常利益	1,157	1,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	86	364
受取補償金	178	98
特別利益合計	264	463
特別損失		
固定資産売却損	10	3
固定資産除却損	87	193
減損損失	46	115
店舗関係整理損	28	9
店舗閉鎖損失引当金繰入額	0	3
特別損失合計	173	324
税金等調整前当期純利益	1,248	1,335
法人税、住民税及び事業税	121	143
法人税等調整額	△207	18
法人税等合計	△85	161
当期純利益	1,334	1,173
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,333	1,172

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純利益	1,334	1,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165	4
その他の包括利益合計	△165	4
包括利益	1,168	1,178
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,168	1,177
非支配株主に係る包括利益	0	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	8,871	579	△250	9,301
当期変動額					
欠損填補		△962	962		—
剰余金の配当		△251			△251
親会社株主に帰属する当期純利益			1,333		1,333
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△4		△4
当期変動額合計	—	△1,214	2,290	△0	1,076
当期末残高	100	7,657	2,870	△250	10,377

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	189	△5	184	—	9,485
当期変動額					
欠損填補					—
剰余金の配当					△251
親会社株主に帰属する当期純利益					1,333
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△165	5	△160	—	△164
当期変動額合計	△165	5	△160	—	916
当期末残高	24	—	24	—	10,402

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	7,657	2,870	△250	10,377
当期変動額					
欠損填補					—
剰余金の配当			△293		△293
親会社株主に帰属する当期純利益			1,172		1,172
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			0		0
当期変動額合計	—	—	879	△0	879
当期末残高	100	7,657	3,749	△250	11,257

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	24	—	24	—	10,402
当期変動額					
欠損填補					—
剰余金の配当					△293
親会社株主に帰属する当期純利益					1,172
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4		4	0	5
当期変動額合計	4	—	4	0	884
当期末残高	29	—	29	0	11,286

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,248	1,335
減価償却費	1,060	1,051
減損損失	46	115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△23
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	△88
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	22	24
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△0	2
受取利息及び受取配当金	△24	△13
支払利息	98	114
投資有価証券売却損益(△は益)	△235	△23
固定資産除却損	87	193
固定資産売却損益(△は益)	△75	△361
売上債権の増減額(△は増加)	△807	△243
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13	△28
仕入債務の増減額(△は減少)	223	△36
未払消費税等の増減額(△は減少)	△73	△57
その他	164	417
小計	1,704	2,378
利息及び配当金の受取額	25	4
利息の支払額	△96	△116
法人税等の支払額	△112	△121
法人税等の還付額	15	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,536	2,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△822	△849
有形固定資産の売却による収入	664	1,302
無形固定資産の取得による支出	△31	△21
投資有価証券の取得による支出	△307	△159
投資有価証券の売却による収入	768	49
敷金及び保証金の差入による支出	△25	△28
敷金及び保証金の回収による収入	180	118
その他	△56	△115
投資活動によるキャッシュ・フロー	370	295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△30	2,070
長期借入れによる収入	3,540	—
長期借入金の返済による支出	△4,075	△7,036
社債の償還による支出	△110	△90
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△250	△294
リース債務の返済による支出	△115	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,041	△5,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	872	△3,026
現金及び現金同等物の期首残高	8,129	9,001
現金及び現金同等物の期末残高	9,001	5,974

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律(令和7年法律第13号)」が2025年3月31日に国会で成立したことに伴い、2026年4月1日以降開始する連結会計年度より、「防衛特別法人税」の課税が行われることとなりました。

これに伴い、2026年9月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を34.6%から35.4%に変更して計算しております。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として直営店による飲食店のチェーン展開を行っております。したがって、当社グループは、「飲食事業」を中心として、これを直接的・間接的に支援する「卸売・ロジスティクス事業」、「不動産事業」、「FC・VC事業」の4つに集約し報告セグメントとしております。

飲食事業は、手作りの和食料理をメインとした「庄や」「大庄水産」の運営等を行っております。

卸売・ロジスティクス事業は、直営店舗及びFC店舗・VC店舗並びに飲食店等の一般取引先への卸売と倉庫・運送を一体化した総物流サービスの展開を行っております。

不動産事業は、自社ビルテナントの不動産の賃貸・管理及び賃借店舗物件の転貸等を行っております。

FC・VC事業は、FC加盟店及びVC加盟店への運営支援・指導等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、従来「フランチャイズ事業」としていたセグメント名称を「F C・V C事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、当連結会計年度の事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報 前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	F C・V C 事業	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	23,499	24,213	—	—	47,713	327	48,041	—	48,041
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	—	—	—	914	914	—	914	—	914
顧客との契約から生 じる収益	23,499	24,213	—	914	48,628	327	48,955	—	48,955
その他の収益 (注) 4	—	—	1,630	—	1,630	—	1,630	—	1,630
外部顧客への 売上高	23,499	24,213	1,630	914	50,259	327	50,586	—	50,586
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5	7,482	184	1	7,673	312	7,986	△7,986	—
計	23,505	31,695	1,815	915	57,932	640	58,573	△7,986	50,586
セグメント利益	1,448	715	384	347	2,896	0	2,896	△1,895	1,000
セグメント資産	8,723	6,245	6,487	463	21,919	132	22,051	11,472	33,524
その他の項目									
減価償却費	641	59	103	83	887	1	889	171	1,060
有形固定資産及び無 形固定資産の 増加額	711	52	23	46	833	1	834	44	879

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,895百万円には、セグメント間取引消去518百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,414百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額11,472百万円には、セグメント間消去△606百万円及び全社資産12,079百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る資産であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額44百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社での設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	FC・VC 事業	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	23,785	25,902	—	—	49,687	332	50,020	—	50,020
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	—	—	—	910	910	—	910	—	910
顧客との契約から生 じる収益	23,785	25,902	—	910	50,598	332	50,930	—	50,930
その他の収益 (注) 4	—	—	1,625	—	1,625	—	1,625	—	1,625
外部顧客への 売上高	23,785	25,902	1,625	910	52,224	332	52,556	—	52,556
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9	8,574	194	1	8,780	301	9,081	△9,081	—
計	23,794	34,476	1,820	911	61,004	633	61,638	△9,081	52,556
セグメント利益	1,303	945	440	349	3,040	△1	3,038	△1,842	1,196
セグメント資産	11,520	6,845	2,435	554	21,355	138	21,494	8,029	29,523
その他の項目									
減価償却費	662	51	72	85	872	1	874	173	1,048
有形固定資産及び無 形固定資産の 増加額	626	13	196	56	892	0	893	123	1,017

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,842百万円には、セグメント間取引消去520百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,362百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額8,029百万円には、セグメント間消去△675百万円及び全社資産8,704百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額123百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社での設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上高は、報告セグメントと同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%以上を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上高は、報告セグメントと同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%以上を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	飲食事業	卸売・ロジスティクス事業	不動産事業	FC・VC事業			
減損損失	30	—	16	—	—	—	46

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	飲食事業	卸売・ロジスティクス事業	不動産事業	FC・VC事業			
減損損失	79	—	17	19	—	—	115

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	
1株当たり純資産額	495円70銭	1株当たり純資産額	537円83銭
1株当たり当期純利益	63円55銭	1株当たり当期純利益	55円88銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,333	1,172
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,333	1,172
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,985	20,985

(重要な後発事象)

該当事項はありません。